

NO	書名	巻次/副書名	著者名	出版年	出版社	内容	現在場所	請求記号	備考
173	東日本大震災復興関連遺跡調査報告7		福島県教育委員会:編集	2021.3	福島県教育委員会	南相馬市鹿島区における遺跡調査の成果をまとめたもの。	郷土資料	210 7	禁帯出
172	ふるさとの復旧・復興・創生を未来に紡いで	いわき市・東日本大震災の10年	いわき市役所総合制作部ふるさと発信課/企画	2021.3	いわき市	1地震・津波のメカニズム 2いわき地方における過去の地震・津波 3東日本大震災の全容 4東日本大震災からの復旧・復興・創生 5定点観測で綴る東日本大震災からの創生 6災害を継承して防災の未来づくり 7震災資料・年表	郷土資料	369 イ	禁帯出
171	3.11から10年	東北被災者と西東京市の人びとが紡いだ日々	特定非営利活動法人生活企画ジェフリー:編集	2021.1	生活企画ジェフリー	震災から10年、途切れることなく被災者・被災地を応援し続けてきた西東京市の人々。行政も、NPOも、社会福祉協議会も、市民団体も、企業も、オール西東京市で豊かな協働がありました。10年の活動をまとめたもの。	郷土資料	369 ト	
170	「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」相双域内選考作品集	令和2年度	福島県教育庁相双教育事務所:編集	2021	福島県教育庁相双教育事務所	「ふれあい」の中で感じた思いや願いを17音で表現することで、豊かな心を育み「絆」を深めることを目的とした事業において、相双域内の応募作品の中から入選・最終選考・一次審査通過作品293組をまとめた作品集。	郷土資料	911 7	
169	東日本大震災記録誌	100年後へ届ける記録	福島県南相馬市	2021.3	南相馬市	1 震災の発生 2 応急対応 3 避難指示区域 4 被災者への支援 5 放射性物質による汚染 6 復旧・復興対応 7 インフラ・生活環境 8 小高区の再興 9 子育て・教育 10 医療・福祉 11 住まい 12 防災 13 文化・スポーツ 14 商工業・労政 15 農林水産業 16 民間活動 資料	郷土資料	369 7	禁帯出
168	東日本大震災・原子力災害10年の記録		福島県	2021.3	福島県	震災と原発事故から10年の節目を迎えるに当たり、復興への取り組みやふくしまの今、県民の声を広く発信すると共に、災害の記録と記憶、たゆまぬ努力と全国からいただいた心温まる応援を後世に残すべくまとめたもの。	郷土資料	369 7	複本あり
167	三瓶町議、奮闘す	浪江町津島の記録	三瓶 宝次:監修	2018.11	動輪社	東日本大震災を中心とした、浪江町の町議会議員活動を通じた三瓶宝次氏の自叙伝。日本テレビの「鉄腕DASH」でのふくしまDASH村でも相談役などを行う。	郷土資料	318 サ	
166	家族写真	3.11原発事故と忘れられた津波	笠井 千晶 // 著	2020.6	小学館	福島第一原発から北に22キロ。福島県南相馬市で生きる、上野さん一家を襲った東日本大震災。避難を拒み、仲間とともに行方不明の家族を自力で捜す上野さんの姿を、著者が7年にわたり丹念に取材した記録。	一般・社会	369 カ	
165	震災絵日記 2011.5.1~2019.3.31	東日本大震災・原発事故の被災者を描き続けた風刺画	朝倉 悠三:描	2019.5	福島民報社	南相馬市鹿島区の画家朝倉さんが、東日本大震災と東京電力第一原発事故への怒りや被災者への思いを描き続けた、福島民報誌連載「震災絵日記」を書籍化したもの。	郷土資料	396 7	
164	津波の夜に	3・11の記憶	大西 暢夫 // 著	2013.2	小学館	宮城県東松島市の被災者35人から聞き取った東日本大震災の記録。あの惨禍の渦中、人々はどうに迷い、命を繋いだのかを、被災者のポートレートや現場の写真、地図を交えて伝える。	書庫	369 オ	
163	東日本大震災 震災市長の手記	平成23年3月11日14時46分発生	立谷 秀清:著		近代消防社	東日本大震災発生24時間から、震災発生2週間、避難所、仮設住宅、復興期、放射能との闘いまでの記録と、著者である相馬市長・立谷秀清の記憶をもとに相馬市の震災対応をまとめた手記。	郷土資料	369 タ	
162	守り抜いた医の灯	公立相馬総合病院の奇跡	福永 久典 // 著	2017.6	河北新報出版センター	地震、津波、そして原発事故と言う未曾有の危機を目前にして、住民の最後の砦となった公立相馬総合病院。そこに「はじめての研修医」として着任した著者が、現在も被災地の最前線で闘っている奇跡の病院の秘密を追う。	郷土資料	498 7	

161	しんさいノート		カトー コーキ // 著	2016.9	イースト・プレス	幼い頃から強烈な自己否定感を持つ著者が、3・11、福島県南相馬で被災し、故郷を失う。新天地で生活を始めるも、やがてうつを発症し、無職に…。ありのままの自分を受け入れるための長い苦悩の道を描いたコミックエッセイ。	一般・日文	916カ	
160	東日本大震災における仙台市下水道の復旧・復興の記録		仙台市建設局:編集	2013.3	仙台市建設局:編集	仙台市下水道の東日本大震災の被災状況、復旧・復興への取り組みなどを記録したもの。下水道施設の被災状況と初期対応／下水道施設の復旧・復興／水質保全への取り組み／放射能への対応／計画停電への備え／震災による経営への影響と対策／関係者の声	書庫	369セ	
159	東日本大震災災害支援活動記録	2011.3.11	福島県作業療法士会	2016.3	福島県作業療法士会	福島県作業療法士会の支援活動年表、福島県作業療法士会の支援活動記録(避難所における支援、応急仮設住宅における支援、訪問リハビリテーション振興財団の設置と活動、相談支援専門チームとしての活動、ほか)、震災・原発事故を経験して、資料編(災害支援活動に関する規定、ポスター、報道・広告記事、など)	郷土資料	369フ	
158	東日本大震災活動記録	～あの日を忘れない～	相馬地方広域消防本部:編	2016.3	相馬地方広域消防本部	東日本大震災時の相馬地方広域消防の活動をまとめた記録誌。地震・津波・福島第一原子力発電所事故の概要、相馬消防署、相馬消防署新地分署、南相馬消防署、各署分署の活動、職員の手記を記載。資料として被害概要、過去の地震被害、消防車両配置表、写真集などを掲載。	郷土資料	369ヒ	複本あり
157	東日本大震災 福島の記録		日本赤十字社福島支部:編	2015.3	日本赤十字社福島支部	東日本大震災・福島第一原子力発電所事故時における、日本赤十字社福島県支部、福島赤十字病院、福島県赤十字血液センターの活動記録をまとめた記録集。東日本大震災の概要／災害対策本部の設置と活動／医療救護班の展開／救援物資／義援金／ボランティアの活動／災害救護活動の総括／復興支援事業／手記／活動資料集	郷土資料	369ニ	
156	震災・原発事故記録集 3・11福島の教職員	東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故下で	福島県教職員組合:編	2015.3	福島県教職員組合	福島県教職員15名の体験記。資料編として、震災・原発事故以降の教職員の実態調査アンケート、日程経過(2011年3月～8月)や県教組による避難所・分会訪問の記録など各種資料。	郷土資料	369フ	
155	証言記録東日本大震災	3	NHK東日本大震災プロジェクト // 著	2015.2	NHK出版	未曾有の大震災に向き合った格闘の日々、その後の鎮魂の日々、防災・減災のためにできること…。東日本大震災の被災現場で記録した152人の言葉をまとめる。NHK総合テレビの2つの番組を再構成して書籍化。	一般・社会	369シ	
154	あの日生まれた命	48人の子どもたちと家族からの手紙	NHKスペシャル「あの日生まれた命」取材班 // 編	2015.1	ポプラ社	東日本大震災で多くの命が失われた日、被災地では110を超える新しい命が誕生した。あれから約4年、被災地で生まれた子を育てる家族の願いが込められた、48通の手紙をもとに、大震災を振り返り、これからを考える手記集。	一般・社会	369ア	
153	あの日生まれた命		NHKスペシャル「あの日生まれた命」取材班 // 編	2015.1	ポプラ社	東日本大震災の日、過酷な状況下で誕生したいくつもの命。あれから4年近くが経ち、家族に見守られながら、彼らはたくましく成長している。2014年3月11日放送のNHKスペシャルを単行本化。	書庫	369ア	
152	東日本大震災 証言集	下巻	東日本旅客鉄道株式会社:編集	2013.3	東日本旅客鉄道株式会社	東日本大震災における各支社社員、関係者の体験談・手記をまとめた証言集。下巻収録は仙台支社(上巻の続き)、福島支店、盛岡支社、秋田支社、新潟支社、長野支社、新幹線運行本部、東京工事事務所、東京電気システム開発工事事務所、東北工事事務所、上信越工事事務所、本社。	書庫	686ヒ	

151	東日本大震災 証言集	上巻	東日本旅客鉄道株式会社:編集	2013.3	東日本旅客鉄道株式会社	東日本大震災における各支社社員、関係者の体験談・手記をまとめた証言集。上巻収録は東京支社、横浜支社、八王子支社、大宮支社、高崎支社、水戸支社、千葉支社、仙台支社(下巻に続く)。	書庫	686 七	
150	2011年3.11東日本大震災 震災対応記録誌		東日本旅客鉄道株式会社 水戸支社:編集	2013.2	東日本旅客鉄道株式会社 水戸支社	東日本大震災の概要、東日本大震災の組織知(支社震災対策本部の運営、輸送指令対応、お客さま救済、駅閉鎖、社員の安否確認、復旧に向けた取組、運営再開への取組、関係機関との連携、被災社員の支援等)、社外への御礼および社内表彰	書庫	686 七	
149	東日本大震災対応記録誌		東日本旅客鉄道株式会社:編	2013.3	東日本旅客鉄道株式会社	地震の概要、東北新幹線全線運転再開までの対応、被害状況・復旧活動、電力供給不足、福島第一原発事故への対応、沿岸部復興に向けた動き、組織知として残すべき事項、これまでの取組	書庫	686 七	
148	東日本大震災記録集	資料編	消防庁	2013.3	消防庁	消防庁発出の通知・連絡等、関係国会議事内容、消防庁被害報(東北地方太平洋沖地震被害報、福島原子力発電所に関連する消防の対応)、消防団員の手記、婦人防火クラブの活動、消防審議会における今後の消防防災体制に関する答申、関係新聞記事	郷土資料	369 シ	
147	亘理町東日本大震災活動等記録集		亘理町	2013.3	宮城県亘理町総務課	東日本大震災の概要、被害の概要、亘理町の地震発生後の対応と一年の軌跡、亘理町被災現況調査について、3.11から生き延びて～あの日そして今、未来へ～、町長からのメッセージ、支援物資・義援金・寄附金報告と御礼	郷土資料	369 ヲ	
146	飯舘村2年間のあゆみ	東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故被災の記録	飯舘村:編	2013.3	飯舘村	村長あいさつ、私たちが愛してやまない飯舘村、飯舘村2年間のあゆみ、まていな復興を目指して、東日本大震災後の飯舘村年表、被害状況、添付資料、要望書・提言書・協定書・通知等	郷土資料	369 イ	
145	東日本大震災 南相馬市災害記録誌		南相馬市復興企画部危機管理課:編	2013.3	南相馬市復興企画部危機管理課	南相馬市のすがた、東日本大震災、被災と避難の状況、南相馬震災ドキュメント、復興への取り組み、東日本大震災を語り継ぐ	郷土資料	369 ミ	
144	東日本大震災 相馬市の記録 第3回中間報告	平成23年3月11日～平成25年3月31日	相馬市災害対策本部:編	2013.4	相馬市災害対策本部	相馬市の被害状況、相馬市の復旧・復興状況、震災から2年間の歩み、相馬市のうごき・取り組み、新しい相馬へのつち音、相馬市長立谷秀清メールマガジン、相馬市の概要、相馬市へのご支援ありがとうございました	郷土資料	369 ヲ	
143	東日本大震災記録集 絆	ふくしまの子らとともに	福島県学校保健会養護教諭部会:編	2013.1	福島県学校保健会養護教諭部会	1福島県養護教諭部会の取り組み 2県内各地の状況と各支部・ブロックの取り組み 3会計調査結果から 4震災前後の児童生徒の発育状況、体力状況 5成果と課題 6東日本大震災の記録(データと写真)	郷土資料	378 ヲ	
142	わたしたちが今、思うこと	平成23年度 大槌の子どもたちの思いをつなぐ	大槌町教育委員会:編	2014.2	大槌町教育委員会、大槌町少年非行防止推進委員会		書庫	369 オ	
141	大槌夢幻	東日本大震災平成大津波2011・3・11大槌の記録	藤枝 宏:写真・文	2011.1	心象舎	岩手県大槌町の津波被害写真と瓦礫から見つかったフィルム写真から構成。大槌の四季・市街地、中心部～各地の被災写真、蓬萊島の夕焼け、夜景、街並み、祭り等。	書庫	369 ヲ	

140	漁村から見た東日本大震災	地震・津波の記録	一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所:発行	2014.3	一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所	水産庁の「漁業地域の防災対策緊急点検調査」における聞き取り調査を元に、漁港・漁場・漁村関係者22名の証言を書籍化。漁業を生業とする三陸沿岸地域の、震災発生からの応急対応、被災時の状況、今後の復興について等を掲載。	書庫	369 キ	
139	しんち未来人しんぶん		NPO法人みらいと:編	2014.9	NPO法人みらいと	東日本大震災から3年以上が経過した今(2014年9月現在)、改めて過去を振り返り、様々な年齢・職業・立場で過ごしてきた住民の日々やこれからの想いなど、25人の被災者の声をまとめた、2014秋号外ほか、しんち未来人しんぶんを収録。	郷土資料	369 エ	複本あり
138	3.11万葉集詠み人知らずたちの大震災	NHKドキュメンタリー	玄 真行 // [著]	2014.8	ディスカヴァー・トゥエンティワン	黒い波 夫 手を離しのまれゆき私はワタシはムンクになった 詠み人たちが吐き出した31文字の言葉の中に、3.11大震災の3年間そして今が刻み込まれている…。NHKドキュメンタリー番組「3.11万葉集」を書籍化。	書庫	369 ゲ	
137	紙つなげ!彼らが本の紙を造っている	再生・日本製紙石巻工場	佐々 涼子 // 著	2014.6	早川書房	東日本大震災で被災した日本製紙・石巻工場。機能は全停止し、従業員でさえ復旧は無理だと考えた。しかし工場長は半年での復興を宣言。その日から、彼らの闘いは始まった…。奇跡の工場再生を描いたノンフィクション。	一般・技術	585 サ	
136	東日本大震災の体験談と復興への思い		福島県企画調整部企画調整課:著	2014.3	福島県企画調整部企画調整課	福島県民の震災の体験談と復興への思いを募集。900通を超える応募の中から選ばれた作品を紹介。2014年3月11日、東日本大震災追悼復興祈念式において福島県知事の復興に向けたメッセージとともに発表された。	書庫	369 フ	
135	読売新聞記者が見つめた東日本大震災300日の記録		渡辺 覚:編集	2012.3	読売新聞東京本社	2011年3月から2012年1月までの、東日本大震災に関する『読売新聞』の報道写真をはじめ、被災地の人々や支える人々のエールとなる災害報道を目指した「24時」シリーズの紙面、福島第一原発のいまなどを収録。	書庫	369 ヨ	
134	変わらない空	泣きながら、笑いながら		2014.3	講談社	「3.11」心の一行ドキュメント! 東日本大震災を経験した日本人55人が、被災直後から2013年9月までに詠んだ短歌90首を、アメリカ人翻訳者たちが精魂込めた英訳とともに紹介する。短歌注釈付き。	一般・日文	911 カ	
133	記者たちは海に向かった	津波と放射能と福島民友新聞	門田 隆将 // 著	2014.3	KADOKAWA	東日本大震災による大津波の最前線で取材していた24歳の地元紙記者は、なぜ死んだのか。その死は、なぜ仲間たちに負い目とトラウマを残したのか。『福島民友新聞』を舞台に、記者たちの執念と葛藤を描いたノンフィクション。	一般・総記	70 カ	
132	ふくしまに生きるふくしまを守る	警察官と家族の手記	福島県警察本部:監修	2013.05	福島県警察互助会	2011年3月11日に発生した東日本大震災、東北電力福島第一原子力発電所事故直後から、救援・救助・捜索に携わった警察官とその家族の声を綴ったもの。	郷土資料	916 フ	
131	あなたへ。	東日本大震災警察官救援記録	講談社ビーシー // 編	2014.2	講談社ビーシー	伝えたい記憶がある。未曾有の被害をもたらした東日本大震災。各県警の広報誌等の掲載をもとに、被災地に救難・救援派遣された全国の警察官とその家族が記した哀絶と警鐘の手記68編を収録。	書庫	369 ア	
130	証言記録東日本大震災		NHK東日本大震災プロジェクト // 著	2014.2	NHK出版	未曾有の大震災に向き合った格闘の日々、そして、その後の鎮魂の日々。東日本大震災の被災現場で記録した170人の言葉と大震災の記憶をまとめる。NHK総合テレビの2つの番組を再構成して書籍化。	一般・社会	369 シ	

129	見る、聞く、話す、感じる、そして考える。		藤 浩志＋えずこホール:編	2013.3	東京都歴史文化財団東京文化発信プロジェクト室	ART SUPPORT TOHOKU-TOKYO(東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業)「藤浩志とカンがえるドキュメント」として制作。p7、112、114、115、120 に、震災後の新地町の写真や、ワークショップ、プロジェクトでの新地町の関わりについて記載あり。	書庫	369 7	
128	伝えたい福島の3・11		福島県退職女性教職員あけぼの会:編	2013.6	福島県退職女性教職員あけぼの会	福島県退職女性教職員の方々による、東日本大震災や原発事故に対する思いや体験などの記録集。p28～新地町火力発電所での様子、p31～新地駅からの避難体験などの記載あり。	郷土資料	369 7	
127	震災が残したもの	14	A-yan Tokyo:編集	2013.6	A-yan Tokyo	神戸と東北。…被災者一人一人の体験や想いを中心にまとめた。また、被災地点描写写真も掲載。	書庫	369 E	
126	仙台郷土研究	復刊第36巻2号	仙台郷土研究会:編	2011.12	仙台郷土研究会	特集:東日本大震災 各地の報告(続)p71～72 に新地町釣師浜で旅館を営んでいた女将さんの話あり。	郷土資料	291 セ	禁帯出
125	仙台郷土研究	復刊第36巻1号	仙台郷土研究会:編	2011.06	仙台郷土研究会	特集1:仙台郷土研究会創立期あたりの考察 特集2:東日本大震災 各地の報告	郷土資料	291 セ	禁帯出
124	東日本大震災津波詳細地図		原口 強 // 著	2013.1	古今書院	津波による浸水域を詳細かつ正確に把握するために、青森県下北半島から千葉県房総半島までの海岸線沿いの浸水範囲を、個々の建物まで識別可能な2万5千分の1地形図上に示す。浸水範囲の一部修正を行った改訂保存版。	郷土資料	453 ハ	禁帯出
123	君はどんどん大きくなって僕はだんだん小さくなって	「あの日」生まれた君たちへ		2013.03	「君の椅子」プロジェクト	壮絶な状況の中で誕生した新しい命。その子どもたちがどれ程の人たちの思いに包まれて産まれてきたのかを綴った記録。	一般・日文	916 キ	
122	3.11の記録 原発事故篇	東日本大震災資料総覧	「3.11の記録」刊行委員会 // 編	2013.7	日外アソシエーツ	東日本大震災発生以降、2013年3月までの2年間に発表・報じられた福島第一原発事故に関する図書、雑誌記事、新聞記事(連載・特集)、視聴覚・電子資料を収録。写真集、児童書・絵本は別項目を立てて紹介する。	辞典	369 サ	禁帯出
121	3.11の記録 震災篇	東日本大震災資料総覧	「3.11の記録」刊行委員会 // 編	2013.7	日外アソシエーツ	東日本大震災発生以降、2013年3月までの2年間に発表・報じられた震災(主に地震・津波)に関する図書、雑誌記事、新聞記事(連載・特集)、視聴覚・電子資料を収録。写真集、児童書・絵本は別項目を立てて紹介する。	辞典	369 サ	禁帯出
120	啓け!	被災地へ命の道をつなげ	岩田 やすてる:著	2013.3	コスモの本	東日本大震災の発生直後に、誰よりも早く、人命救助と救援のための道を啓いた「災害のプロ」たちがいた。次々と困難が起こる「道路啓開」本部・東北地方整備局を舞台に、知られざる事実を描いたドキュメンタリーコミック。	一般・芸術	726 イ	
119	震災後に中高生が果たした役割の記録プロジェクト報告書			2013.4	公益財団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	震災直後の状況下で子どもたちが地域において担った役割について、投稿されたエピソードを冊子にまとめた。	書庫	369 コ	
118	山元町 東日本大震災記録誌	希望と笑顔が輝くまちへ		2013.3	山元町危機管理室	東日本大震災における被害状況や災害対応、さらには復旧・復興に向けた取り組みなどについて、記憶を風化させることなく、今後の教訓として後世に残すため本紙を発刊。	郷土資料	369 ヤ	
117	震災体験記	～福島県相馬郡新地町 小中学生たちのあの時～	日本YWCA:編集	2013.4	公益財団法人日本YWCA	新地町立尚英中学校と新地小学校の生徒たちが、東日本大震災の記憶を文字につづった作文の中から、こに心に残った作文を、全国のYWCAボランティアが日本語データ入力および英訳し、1さつの冊子にまとめた。	郷土資料	916 ニ	複本あり

116	津波はいつかまた来る		大船渡ユネスコ協会図書発行編集委員会:編		大船渡ユネスコ協会	第1章:写真でみる津波の被害 第2章:助かった人たち 第3章:津波防災教育と実践校の活動、ほか	書庫	369 オ	複本あり
115	産業医科大学 東日本大震災支援活動記録 2011、2012		産業医科大学:編	2013.3	産業医科大学		書庫	369 サ	
114	東日本大震災 仙台市震災記録誌	発生から1年間の活動記録	仙台市復興事業局震災復興室:編集	2013.3	仙台市復興事業局震災復興		書庫	369 セ	
113	巨大津波	その時ひとはどう動いたか	NHKスペシャル取材班//著	2013.3	岩波書店	東日本大震災で、津波来襲の遅い地域だったのにもかかわらず、甚大な被害を受けた宮城県名取市閑上地区。住民に取材した膨大なデータをもとに、災害時の人間の行動心理を分析し、何がひとの生死を分けたのか、その境界に迫る。	書庫	369 キ	
112	忘れない	東日本大震災と救命・救援ルート確保、復旧への記録	国土交通省東北地方整備局:編集	2012.6	国土交通省東北地方整備局	未曾有の被害をもたらした東日本大震災。人命救助と救援ルート確保へ東北地方整備局は緊急輸送路の確保に突き進んだ。命の道を切り開き、復旧や市町村支援に挑んだその活動記録。	書庫	369 コ	
111	ナガサレール イエタール		ニコ ニコルソン//著	2013.3	太田出版	2011年3月11日、実家が津波で流された!「生まれ育った土地に帰りたい」と願う祖母のため、著者と母は全壊判定の被害を受けた家の再建を決め、さまざまな問題に立ち向かう。母娘三代の実録自宅再建コミックエッセイ。	一般・日文	916 ニ	
110	小さな町を呑みこんだ巨大津波	語りつぐ	やまもと民話の会//編纂	2013.3	小学館	生死を分けた過酷な体験。目のあたりにした魔の光景…。宮城県亶理郡山元町「やまもと民話の会」が、東日本大震災における町民被災を聞き取った証言集。命を守った一瞬の判断と、助け合いを後世に伝える。	郷土資料	369 チ	
109	3.11行方不明	その後を生きる家族たち	石村 博子//著	2013.3	角川書店	東日本大震災から2年、いまだ行方不明者は約2700人。娘を捜し続ける父、妻の勤務先に説明を求める夫、親子二代で地域復興に頑張る経営者など、行方不明者と共に生きようとする家族たちの想いに迫る。	書庫	369 イ	
108	証言記録東日本大震災		NHK東日本大震災プロジェクト//著	2013.2	NHK出版	大津波を目前にしたとき、原発事故を耳にしたとき、人々は何を考え、どう行動したのか。東日本大震災の被災現場で記録した246人の言葉と大震災の記憶をまとめる。NHK総合テレビの2つの番組を再構成して書籍化。	一般・社会	369 シ	
107	あの日のふくしま	次代へつなぐメッセージ	福島県:編	2012.12	福島県	p31に新地町震度、p9に新地駅被災写真、p30仮設住宅への物資搬入写真など掲載あり。	郷土資料	369 フ	複本あり
106	向きあう	2011-2012 東日本大震災	曹洞宗東北管区教化センター:編集	2012.6	曹洞宗	p171、172に新地町への支援情報掲載あり。	一般・哲学	188 ヲ	
105	漁業・水産業における東日本大震災被害と復興に関する収集情報リス	平成24年10月 中間まとめ	震災情報研究会:編著	2012.1	一般財団法人東京水産振興		書庫	661 シ	
104	糸式	ITOSHIKI	糸式製作委員会:編	2012.9	糸式製作委員会	東日本大震災により被災された方々へ、本サイトに寄せられた、応援メッセージを書籍化。	書庫	369 イ	
103	3.11大震災日本記者クラブの会見			2012.8	日本記者クラ		書庫	369 ニ	
102	東日本大震災記録集 岩手県		日本グラフィックデザイナー協会:編	2012.3	日本グラフィックデザイナー		書庫	369 ニ	
101	東日本大震災記録集 宮城県		日本グラフィックデザイナー協会:編	2012.3	日本グラフィックデザイナー		書庫	369 ニ	
100	東日本大震災記録集 福島県		日本グラフィックデザイナー協会:編	2012.3	日本グラフィックデザイナー		書庫	369 ニ	
99	あの日を忘れないために	東日本大震災で被災したけんしん職員	福島県商工信用組合:編集	2012.5	福島県商工信用組合		書庫	338 フ	

98	学校を災害が襲うとき	教師たちの3.11	田端 健人 // 著	2012.1	春秋社	卒業式を控えた6時間目、多くの子どもたちが教室にいた。そのとき、先生は…。10人の教師への詳細な聞き書きにもとづき、東日本大震災当日から学校再開までの日々を綴る災害エスノグラフィ。	一般・社会	372 タ	
97	東日本大震災教職員が語る子ども・いのち・未来	あの日、学校はどう判断し、行動したか	宮城県教職員組合 // 編	2012.1	明石書店	東日本大震災から、宮城の学校・教職員は、どんな事態に直面し、何を考え、どう行動したのか。学級担任、養護教諭、学校事務職員など、様々な立場の人々の手記を収録。大震災が学校教育現場にもたらした全体像を明らかにする。	書庫	369 ヒ	
96	佐々淳行の危機の心得	名もなき英雄たちの実話物語	佐々 淳行 // 著	2012.9	青萌堂	福島第一原発所長、殉職した南三陸町職員、消防団員、ハイパーレスキュー、海上保安官、自衛隊員…。日本の危機を救った名もなき英雄たちの17の物語を紹介する。「いま語る9・11の当日のワシントンの現場」も収録。	書庫	369 サ	
95	津波被災前・後の記録	2011.3.11東日本大震災	東北建設協会 // 編	2012.8	河北新報出版センター	宮城・岩手・福島県沿岸部で、東日本大震災の前と後に、同じ地点をほぼ同じ高度・角度から撮影。被災前、被災直後、被災から6ヶ月後・1年後などの写真を掲載する。地点の変わりようがわかる。	郷土資料	369 ツ	
94	なぜ風が吹くと電車は止まるのか	鉄道と自然災害	梅原 淳 // 著	2012.8	PHP研究所	東日本大震災後、首都圏でも危惧される地震を筆頭に、ゲリラ豪雨、強風、落雷といった自然災害に対する鉄道の備えと意外な弱点を解説。停電、火災、人身事故などの問題にも触れる。	一般・産業	686 ウ	
93	東日本大震災からの復興		小林哲也・編	2012.5	カメイ株式会		書庫	335 ヒ	
92	その時、ラジオだけが聴こえていた	3・11 IBCラジオが伝えた東日本大震災	荒蝦夷 // 企画 編集	2012.8	竹書房	発災から108時間にわたって情報を伝え続けたIBC岩手放送。ドキュメント&証言の記録から、ラジオの存在と役割を改めて問う。IBCラジオ3・11震災報道CD付き。	書庫	369 ソ	
91	震災離婚		三浦 天紗子 // 著	2012.8	イースト・プレス	未曾有の災害が夫婦にもたらしたものは、「破局か、それとも新しい希望のかたちか」。自ら「震災離婚」を経験した著者が、長期にわたる「被災地ルポ」とともに、3.11以降の「夫婦の絆」の行方を追う。	書庫	367 ミ	
90	おもかげ復元師の震災絵日記		笹原 留似子 // 著	2012.8	ポプラ社	東日本大震災発生後まもなく沿岸地域に入り、大きな損傷を受けた300人以上の遺体を生前の姿に戻す「復元ボランティア」に献身した女性納棺師が、やさしいタッチで描いた亡くなった方の似顔絵と、その遺族とのやりとり。	書庫	369 サ	
89	大震災 日本列島が揺れた	高校生・高等専修学校生75人の記録	仕事への架け橋 // 編	2012.7	小峰書店	高校生や高等専修学校生に「職業」や「仕事」について考える機会と発表の場を提供することを目的とした、「私のしごと」作文コンクール。第7回コンクールの全応募作品の中から、東日本大震災に関する75編を収録する。	書庫	369 タ	
88	津波からの生還	東日本大震災・石巻地方100人の証言	三陸河北新報社「石巻かほく」編集部 // 編	2012.8	旬報社	巨大な波に翻弄されたあの日、何が生死をわけたのか。東日本大震災の被災者のインタビューによって、津波の真実を明らかにする。沿岸部各地の被災前と被災後がわかる航空写真も収録。「石巻かほく」連載を単行本化。	書庫	369 ツ	
87	3.11大震災の記録	中央省庁・被災自治体・各土業等の対応	震災対応セミナー実行委員会 // 編	2012.7	民事法研究会	中央省庁・被災自治体職員、自衛隊、警察・消防職員、各土業、保険会社等は東日本大震災にどう立ち向かったのか。マスコミの報道等では知ることのできない関係者の熱い思いと迅速な対応、今後の課題を豊富な資料とともに解説。	書庫	369 サ	
86	双葉・鹿島そして未来へ	JA福島厚生連 東日本大震災・原発事故記録集	JA福島厚生連東日本大震災・原発事故記録集編集プロジェクト・編	2012.3	福島県厚生農業協同組合連合会	東京電力福島第一原子力発電所から4kmに位置する双葉厚生病院と33kmの鹿島厚生病院、介護老人保健施設厚寿苑のスタッフの中から50名が震災発生直後に何を思い、どう行動したかを残した記録集。	郷土資料	498 ジ	

85	日本の自然災害	東日本大震災襲来津波による原発事故も収録	篠木 毅・監修	2011.7	日本専門図書出版株式会社	2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災地の状況、救護活動の様子を記録した写真集。日本の主な津波災害史や世界の21世紀津波災害史、福島原子力発電所の事故、世界の原子力発電所の事故も収録する。188p～191pに新地町の掲載写真あり。	一般・自然	450 ニ	
84	生きてやろうじゃない!	79歳・母と息子の震災日記	武澤 順子 // 著	2012.7	青志社	未曾有の東日本大震災で一度は絶望の淵に追いやられ、もう死んでもいいと嘆いていた母。しかし、過酷な試練を乗り越え、生きる希望をつかんでいく。震災から1年間にわたって綴られた「母の日記」と「息子の日記」を収録する。	一般・日文	916 タ	
83	東日本大震災 失われた風景		津田印刷 企画編集部:編集発行	2012.1	津田印刷 企画編集部	パラグライダーで上空から撮影された、2011年3月11日以前と以後の宮城県・福島県沿岸の被害があった場所の比較写真集。後半ページに新地町も掲載あり。	郷土資料	369 ツ	複本あり
82	東日本大震災ぎふ支援の記録		岐阜新聞社報道本部 東日本大震災取材班	2011.9	岐阜新聞社	東日本大震災の発生を受けて救援に向かった岐阜県の人々の体験談をまとめるほか、『岐阜新聞』掲載記事を中心に岐阜県からの救援・支援の姿を追う。『岐阜新聞』掲載の緊急企画「震災を知る」も収録。	書庫	369 キ	
81	渚のこゑ	詩歌・俳句・随筆作品集	松田 ひろむ:編	2011.9	第三書館	あの日まで 名前には温かい血がかよひ 活字ではなかったはずだ(「名前」より) NPO法人日本詩歌句協会が実施した「東日本大震災復興支援がんばれ日本!詩歌俳句随筆公募」の入賞作品と選者講評などを収録。	書庫	911 マ	
80	福島の1年	2011.3.11～ 2012.3.11報道記録集 東日本大震災・原発事故	福島民友新聞社/編	2012.3	福島民友新聞社	東日本大震災から1年…。福島民友新聞社紙面に掲載した写真、記事、社説のほか公的な機関が発表したデータなどを後世に伝えるため報道記録集として刊行。	郷土資料	369 フ	複本あり
79	尚英中学校256の軌跡	東日本大震災体験記	新地町立尚英中学校:編集	2012.3	新地町立尚英中学校	尚英中学校生徒256名の東日本大震災、東京電力福島第一原発事故における体験記録集。震災直後の校内の様子や再開後の学校行事などの写真記録も掲載。	郷土資料	916 シ	複本3冊あり
78	東日本大震災 警察職員の手記				福島県警察本部記録推進室	福島県警察職員、またその家族による東日本大震災の手記。	郷土資料	916 フ	禁帯出
77	生きる	東日本大震災から一年	公益社団法人日本写真家協会 // 編集		新潮社	語り継ぐべきその日の真実、豊かな東北の記憶、そして再生に向けた希望の日々を、日本写真家協会が総力を挙げて編集。被災した会員、各地から取材に入った会員、一般写真家、メディア、写真愛好家ら73名の写真を掲載する。	書庫	369 コ	
76	ドキュメント自衛隊と東日本大震災		瀧野 隆浩 // 著	2012.5	ポプラ社	すべてが初めてのオペレーションという混乱のなかで、彼らはいかに苦悩し行動したか。原発事故対応から被災者支援まで、さまざまな任務をやり遂げた幹部や隊員たちへ取材し、メディアが伝えない「知られざる瞬間」に迫る。	一般・社会	392 タ	
75	光に向かって	3・11で感じた神道のこころ	川村 一代 // 著	2012.4	晶文社	2011年3月11日の大震災で被災した東北の神社を訪れ、その土地を守る宮司さんや神職さん、宮司の奥様方に話を聞き、彼らの経験のなかで発露された「神道のこころ」を紹介する。	書庫	175 カ	
74	消防団の闘い	3.11東日本大震災	日本消防協会 // 編	2012.4	近代消防社	東日本大震災でめざましい活動を展開した消防団の、震災発災直後からの生々しい現地活動記録を中心にまとめた記録誌。これからの消防活動のあり方、消防団員の安全確保を考えるための教訓が詰まった一冊。	郷土資料	369 シ	複本あり



73	希望の桜。3.11東日本大震災		鴨志田 孝一 // 撮影文	2012.4	講談社	南相馬市・夜の森公園の満開の桜、畑の中にぼつんと生える田村市の桜…。東日本大震災発生からの1年間、東京を皮切りに、福島、宮城、岩手を取材してきた著者が、被災地の1年を写真で振り返る。	書庫	369 カ	
72	子どもたちの3.11	東日本大震災を忘れない	Create Media // 編	2012.4	学事出版	2011年3月11日に起きた東日本大震災を生きのびた、岩手・宮城・福島・茨城の10才～19才、44人が書いた被災体験記集。コラム「被災者にあなたができること」も掲載する。	書庫	369 コ	
71	ラジオ福島の300日		片瀬京子とラジオ福島 // 著	2012.3	毎日新聞社	放射能への不安をかかえながら、誰に何をどう伝えるべきかに苦悩し奔走したラジオ福島。東日本大震災発生から350時間のCMカット連続生放送を敢行し、県内外、海外へも声を届け、多大な支持を集めた放送局の闘いを記す。	書庫	369 ラ	
70	東日本大震災原発事故	ふくしま1年の記録	福島民報社:編集	2012.3	福島民報社	p15に釣師浜の被害状況写真、p64に新地駅からの避難状況、p80に新地駅の被害状況写真、p107に新地町の仮設住宅状況、p108に釣師漁港の被害額、新地町の死亡者・行方不明者数、p114に新地町の合同慰霊祭の写真、p142に尚英中吹奏楽部の東京都交響楽団演奏会への招待された様子、p144に日本相撲協会巡回慰問の写真、p156に小野トメヨさんの語り部の写真、掲載。	郷土資料	369 フ	複本あり
69	まさき君のピアノ	自閉症の少年が避難所で起こした小さな奇跡	橋本 安代 // 著	2012.3	ブックマン社	東日本大震災で被災し、宮城県女川町の避難所へきていた人々を癒した音色。自閉症の少年・まさき君はなぜ、ピアノを弾いたのか。災害と障害、家族と地域の絆を描いた感動のドキュメント。	書庫	916 ハ	
68	あと少しの支援があれば	東日本大震災障がい者の被災と避難の記録	中村 雅彦 // 著	2012.2	ジアース教育新社	東日本大震災で福島県では身体障がい者はどのように避難したか。避難先での生活をどう乗り越えているのか。あと少しの支援があれば助かった例、福祉サービス事業所の被災と避難、障がいに応じた避難などについて考察する。	書庫	369 ナ	
67	自衛隊員が撮った東日本大震災	内側からでしか分からない真実の記録	防衛省 // 協力	2012.3	マガジンハウス	2011年3月11日に起きた東日本大震災における、8ヶ月にわたる自衛隊の救援活動の記録。救援・捜索活動、原子力災害派遣、トモダチ作戦、生活支援活動など、現場の中心にいた自衛隊員自身が撮影した生の写真が満載。	書庫	369 ジ	
66	日本人の底力	東日本大震災1年の全記録	産経新聞社 // 著	2012.3	産経新聞出版	地震、津波、原発事故、そして復興…。空から地上から定点写真で見る被災地の1年。870枚のカラー写真、記事、データを一挙掲載。2011年3月～2012年2月の日別完全記録も収録。『産経新聞』のデータをもとに構成。	書庫	369 ニ	
65	暗い夜、星を数えて	3・11被災鉄道からの脱出	彩瀬 まる // 著	2012.2	新潮社	2011年3月11日、東京から東北旅行に来ていた著者が、偶然新地駅で停車していた電車の中で被災し自宅に帰るまでの5日間と、その後の福島訪問時のノンフィクション。表紙写真は新地駅で被災した車両、表紙写真は被災した新地駅。	一般・日文	916 ア	
64	ふるさとをあきらめない	フクシマ、25人の証言	和合 亮一 // 著	2012.2	新潮社	あの日をどのように受けとめたか? どんな生き方をしていきたいか? 酪農家、アナウンサー、旅館経営者、看護師、消防団員…。被災詩人が25人のフクシマの証言者に聞く、3・11とそれから。『新潮45』連載を加筆修正。	書庫	369 ヲ	

63	3・11慟哭の記録	71人が体感した大津波・原発・巨大地震	金菱 清 // 編	2012.2	新曜社	生々しい体感、慟哭と彷徨の日々、絶望から再起への想い…。東日本大震災で被災した、宮城・岩手・福島27市町村のあらゆる職業・年齢の男女71人が、自分の体験を書き下ろした記録集。	一般・日文	916 サ	
62	震災死	生き証人たちの真実の告白	吉田 典史 // 著	2012.2	ダイヤモンド社	遺族、検死医、消防団員、救助犬調教師、潜水士、防災学者…。数々の証言から、東日本大震災がもたらした死者・行方不明者2万人の実態に迫る。『ダイヤモンド・オンライン』連載を大幅に修正し、書き下ろしを加えて単行本化。	書庫	369 ヨ	
61	がれきの中の天使たち	心に傷を負った子どもたちの明日	椎名 篤子 // 著	2012.1	集英社	かつて阪神・淡路大震災で、そして今、東日本大震災で、傷ついた子どもたちのために、わが身をかえりみずに力を尽くす児童精神科医たち。子どもの心のケアの現場をレポートした、渾身のノンフィクション。	書庫	493 シ	
60	福島県民23人の声	3.11大震災と原発を乗り越えて	武田 悦江 // 取材 著	2012.1	歴史春秋出版	行政の首長、農業を営む人、観光業の人、子育て中の主婦など、福島県に住むさまざまな立場の23人取材し、それぞれの東日本大震災と原発事故に対する思いを紹介する。	書庫	369 タ	複本あり
59	東日本大震災・ダイジェスト			2012.1	近代消防社	平成23年3月11日に発生した東日本大震災の概要をはじめ、福島原子力発電所事故や地震火災・津波型火災の事例の調査資料、被災地消防本部の活動状況、教訓などを掲載。今後の防災対策に役立つ一冊。	書庫	369 ヒ	
58	「つなみ」の子どもたち	作文に書かれなかった物語	森 健 // 著	2011.12	文藝春秋	『文藝春秋』臨時増刊号「つなみ」に掲載された作文を書いた、東日本大震災の被災地の子どもとその家族の再生のドキュメント。震災から半年余り経ち“半歩”を踏み出すまでのプロセスを追う。子どもたちの作文も収録。	書庫	369 モ	
57	南相馬10日間の救命医療	津波・原発災害と闘った医師の記録	太田 圭祐 // 著	2011.12	時事通信出版局	3.11の東日本大震災で、地震、津波に加えて原発事故に襲われた福島県南相馬市。放射能の恐怖のなか、「安全」と「危険」のボーダーラインで生命を救い、地域医療を守るために闘った医師と病院の苦闘と軌跡を綴る。	書庫	498 オ	
56	日本鉄道旅行地図帳	東日本大震災の記録	今尾 恵介 // 監修	2011.8	新潮社	地図と写真で語り継ぐ「大震災と鉄道」。p3、p26～27、p42に新地駅や車両の掲載記事あり。	郷土資料	686 ニ	
55	被災者に寄りそう医療	震災最前線の絆	稲光 宏子 // 著	2011.11	新日本出版社	東日本大震災と原発事故の惨事に苦闘する被災者に、全日本民医連はどのように寄り添い、医療・介護を展開したのか。人がともに立ち上がる意味を問いかけるヒューマンドキュメント。	書庫	498 イ	
54	希望の木		新井 満 // 著	2011.11	大和出版	東日本大震災の大津波に耐え、岩手県陸前高田市にある高田松原七万本の中でたった一本残った「奇跡の一本松」。失意の底からの希望と再生、いのちの絆、家族愛を紡いだ写真詩集。	一般・日文	911 ア	
53	記者は何を見たのか	3・11東日本大震災	読売新聞社 // 著	2011.11	中央公論新社	被災者の話を聞き号泣した記者がいた、歯を食いしばってシャッターを切ったカメラマンがいた…。東日本大震災の取材にあたった読売新聞記者78人が、現地では何を見て、いかに感じ、何を考えたのかを綴った体験記。	書庫	369 キ	

52	ガールズ1000人のリアル震災体験	「東日本復興応援プロジェクト」届けた い!伝えたい私たち からのメッセージ	魔法のいらんど // 編	2011.11	アスキー・メ ディアワークス	『魔法のいらんど』の東日本大震災特設ページに投稿された1900通 に及ぶ全国の女の子たちのリアルな声を書籍化。メッセージやエ ピソードのほか、応援メモや震災に対する意識調査アンケートも 収録。	一般・日文	916 ガ	
51	僕はしゃべるためにここへ来た		笠井 信輔 // 著	2011.11	産経新聞出版	言葉にしなければならない。僕は、しゃべるためにここ、被災地に 来たのだから…。情報番組「とくダネ!」取材班のひとりとして東日 本大震災の被災地へ入ったリポーター笠井信輔が、テレビ報道の 裏側、震災報道の真実を綴る。	書庫	369 カ	
50	東日本大震災津波詳細地図	下巻	原口 強 // 著	2011.1	古今書院	津波による浸水域を詳細かつ正確に把握するために、青森県下 北半島から千葉県房総半島までの海岸線沿いの浸水範囲を、 個々の建物まで識別可能な2万5千分の1地形図上に示す。下巻 は福島・茨城・千葉を収録。	一般・自然	453 ハ	
49	東日本大震災津波詳細地図	上巻	原口 強 // 著	2011.1	古今書院	津波による浸水域を詳細かつ正確に把握するために、青森県下 北半島から千葉県房総半島までの海岸線沿いの浸水範囲を、 個々の建物まで識別可能な2万5千分の1地形図上に示す。上巻 は青森・岩手・宮城を収録。	一般・自然	453 ハ	
48	河北新報のいちばん長い日	震災下の地元紙	河北新報社 // 著	2011.1	文藝春秋	津波に吞まれて九死に一生を得た総局長、殉職した販売店主、 倒壊した組版システム…。東日本大震災で、自らも被災しながら 報道を続ける東北の地元紙『河北新報』の全記録。	書庫	369 カ	
47	あの日のわたし	東日本大震災99人 の声	あの日のわたし編集委 員会 // 編	2011.1	創栄出版	父を失った悲しみ、自然の仕打ちを乗り越えて前進する強さ、子ど もたちが感じた地震に対する心構え…。東日本大震災で被害を受 けた人々による遭遇記。99編を収録。	書庫	916 ア	
46	生きている生きてゆく	ビッグパレットふくし ま避難所記	「ビッグパレットふくしま 避難所記」刊行委員会 // 編集	2011.9	「ビッグパレ ットふくしま避難 所記」刊行委 員会	東日本大震災により福島県で最大規模の避難所となったコンベン ション施設「ビッグパレットふくしま」。そこで行われた「足湯」の際 に語られた入所者のつづやきと、哀切のなかにも喜びを見いだす 暮らしぶりを捉えた写真を収録。	書庫	369 イ	
45	東日本大震災-写真家17人の視点		篠山 紀信 // [ほか撮 影]	2011.9	朝日新聞出版	撮影者は忘れられようとも、亡くならうとも、写真は見る者の、今 の心のなかを新たに生きる。篠山紀信、野町和嘉、立木義浩、Q. サカマキ、岡田敦ら17人の写真家による東日本大震災の記録。	書庫	369 ヒ	
44	東日本大震災消防レスキュー写真 で見る88日間の活動全記録			2011.1	イカロス出版	緊急消防援助隊、被災県消防の応援隊、そして自ら被災しながら 活動を続ける被災地消防。東日本大震災で、緊急消防援助隊と して派遣された全国の消防レスキューの活動写真を収録。	一般・社会	369 ヒ	
43	ナース発東日本大震災レポート	ルポ・そのとき看護 は	日本看護協会出版会 編集部 // 編	2011.9	日本看護協会 出版会	被災しながらも懸命に患者を護った人。現地へ赴き、支援した人。 被災地からの避難者を受け入れ、医療を提供した人…。183人の ナースによる、東日本大震災の活動報告書。	書庫	492 ナ	
42	ヒトのチカラ。	東日本大震災被災 地、災害ボランティア センターで起こった いくつものドラマ。	小田原 きよし // 著	2011.9	マーブルトン	東日本大震災で15mの波に襲われた宮城県宮城郡七ヶ浜町。そ の災害ボランティアセンターでの感動的な物語を綴る。七ヶ浜町 民ボランティアへのインタビュー、ボランティアの心得も掲載。	書庫	369 オ	
41	天声人語	2011年1月-6月	朝日新聞論説委員室 // 著	2011.9	朝日新聞出版	『朝日新聞』の名物コラム「天声人語」の2011年前半分を全収録。 東日本大震災、福島第一原発事故、多国籍軍リビアに軍事介入 など、幅広いトピックス。時事年表・人名索引も収録。	書庫	304 テ	

40	日本に自衛隊がいてよかった	自衛隊の東日本大震災	桜林 美佐 // 著	2011.9	産経新聞出版	被災、使命、決断、団結。最も頼もしい集団、自衛隊の闘いの記録。『タリフジ』連載「誰かのために」を再編集し、日本と自衛隊の危機について解説した「災害派遣の舞台裏」を加えて単行本化。	書庫	392 サ	
39	救命	東日本大震災、医師たちの奮闘	海堂 尊 // 監修	2011.8	新潮社	津波に全てを奪われても、命の可能性を信じて彼らは闘い続けた。医師とは、いのちを救い、死を悼む存在なのだ。極限状態で医療に携わった9人の医師が、その凄絶な日々を語る。	書庫	498 キ	
38	震災と鉄道全記録	鉄道よ熱く甦れ		2011.9	朝日新聞出版	東日本大震災によって被災した全線・全列車・全駅の詳細データと、証言を交えた現場ルポを掲載。そのほか、復刻記事でたどる「鉄道と震災」全史なども収録する。切り取れる「被災全線詳細列車走行地点地図」付き。	郷土資料	686 シ	
37	明日へ	東日本大震災命の記録	NHK東日本大震災プロジェクト // 著	2011.8	NHK出版	窮地にあっても尊厳を失わず、氣力をふり絞って立ち上がる力強さを持つ人々がいた…。東日本大震災直後から被災地を駆け巡ったNHKの記者やディレクター、カメラマンらによる現場からの報告をまとめる。	一般・社会	369 ア	
36	石巻赤十字病院、気仙沼市立病院、東北大学病院が救った命	東日本大震災医師たちの奇跡の744時間	久志本 成樹 // 監修	2011.9	アスペクト	3.11震災直後、病院は、医療スタッフは何を考え、どのように機能したのか? 三大拠点となった医療機関の震災直後から744時間(1か月間)までの「奇跡」を追う救急医療ドキュメント。	書庫	498 イ	
35	2011年東北地方太平洋沖地震災害調査速報		日本建築学会 // 編集	2011.7	日本建築学会	2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による被害の状況を調査・報告。東北地方をはじめとする各地方の被害、木造建物や歴史的建造物など各構造の被害をまとめる。	一般・技術	524 ニ	
34	東日本大震災全記録	被災地からの報告		2011.8	河北新報社	M9.0、大津波、原発、風評被害…。『河北新報』の記者たちが命懸けで取材し、報道してきた東日本大震災の全記録。被害や復興の様子を沿岸自治体別やテーマ別に、掲載記事などを中心にまとめる。	一般・社会	369 ヒ	
33	前へ!	東日本大震災と戦った無名戦士たちの記録	麻生 幾 // 著	2011.8	新潮社	ゴーグルが曇る為、マスクを外して原発に放水し続けた自衛隊員。遺体と瓦礫で埋まる道を突き進んだ国交省特殊部隊…。東日本大震災の陰で命を賭けた者たちの記録。『文藝春秋』『週刊文春』掲載を大幅に加筆して単行本化。	書庫	369 ア	
32	東日本大震災の教訓	津波から助かった人の話	村井 俊治 // 著	2011.8	古今書院	いつかはわからないが、再びまた大震災は起こりうる。東日本大震災で起きた津波で九死に一生を得た生存者が、それぞれの状況の中でどのようにして判断をし、行動をしたかを参考に、子孫に向けての教訓をまとめる。	書庫	369 ム	
31	希望	僕が被災地で考えたこと	乙武 洋匡 // 著	2011.7	講談社	障害者の僕に、何ができるのか? しかし、立ち止まっても、だれかの役に立つことはできない。だから僕は、被災地に向かった。石巻での特別授業、仙台での始球式…。東日本大震災での「乙武洋匡らしい」支援を綴る。	書庫	369 オ	
30	3.11	大震災・原発災害の記録	橋本 紘二 // 著	2011.7	農山漁村文化協会	『現代農業』誌のグラビアを40年以上にわたって撮りつづける農村写真家が、3.11に発生した東日本大震災、翌3.12未明に発生した長野県北部地震の被災地の現実と、その極限の状況から歩み始めた人々の姿をとらえる。	書庫	369 ハ	

29	「脇役」たちがつないだ震災医療	ドキュメント●東日本大震災	辰濃 哲郎 // 著	2011.6	医薬経済社	病院事務局長、看護師長、医薬品卸の社員たち。修羅場のなかで勇猛果敢に闘った「脇役」たちもまた被災者だった。極限の中で守ったものは何か。スポットが当たらない、もうひとつのヒューマン・ドキュメント。	書庫	369	ワ	
28	東日本大震災自衛隊救援活動日誌	東北地方太平洋沖地震の現場から	須藤 彰 // 著	2011.7	扶桑社	被災者救援の現場で、自衛隊の隊員は何を思い、何をしているのか。陸上自衛隊の東北方面総監部政策補佐官である著者が、東日本大震災の災害派遣間に行った日誌。現場で撮影した写真も数多く掲載。	書庫	392	ス	
27	宮城県気仙沼発!ファイト新聞		ファイト新聞社 // 著	2011.7	河出書房新社	ルールはひとつ、「暗い話は書かない」。東北地方太平洋沖地震の発生から1週間後、宮城県の避難所で暮らす小学生の呼びかけで始まった壁新聞『ファイト新聞』。創刊から1カ月半までの全号を、子どもたちの写真とともに収録。	書庫	369	ミ	
26	東日本大震災 心をつなぐニュース		池上 彰 // 編	2011.6	文藝春秋	避難者に物資を届ける姉妹、濁流から10人を助けた元ラガーマン、被災地に留まるフィリピン人看護師…。地域に密着した東北・東日本の地元新聞から、感動の震災ニュース94本を厳選して紹介します。	書庫	369	ヒ	
25	詩の礫		和合 亮一 // 著	2011.6	徳間書店	放射能が降っています。静かな夜です…。3月16日午前4時23分の被災後最初のメッセージから5月26日まで、福島在住詩人がツイッターで放った言葉・咆哮を収録。	一般・日文	911	ワ	
24	3.11東日本大震災	君と見た風景	平井 寿信 // 著	2011.7	ぶんか社	2011年3月11日、東日本大震災発生。物資不足、原発事故、今なお続く余震…。宮城県在住の被災ブログまんがの著者が、妊娠9ヶ月の妻、4歳の娘と手を取り歩んだ30日間を描く。	一般・日文	916	ヒ	
23	フクシマ3・11の真実		植田 正太郎 // 著	2011.7	ゴマブックス	福島第一原発水素爆発後、150人が取り残された南相馬市の「大町病院」に入り、命がけの救援活動をした男たちの全記録。2011年3月11日から10日間の「事態の初動」も検証する。	書庫	369	ウ	
22	3・11東日本大震災奇跡の生還	緊急現地ルポ	上部 一馬 // 著	2011.7	コスモトゥーワン	失ったものはあまりに大きい、見つけたものも少なくない! 東日本大震災で奇跡的な生還を果たした人たち、人命救助に活躍した人たち、そして、何もかも失ったが再興に向けて立ち上がった人たちの生の声を綴る。	書庫	369	ウ	
21	外国人が見た東日本大震災		エハン デラヴィ // 著	2011.6	武田ランダムハウスジャパン	新しい時代への変革は日本から始まる! 「人類の意識の進化」を説き続ける親日家が、被災地の実情、原発問題の闇、復興への問題点など、何にも縛られず、ありのままを率直に語る。	書庫	369	デ	
20	写真で見るトモダチ作戦	OPERATION TOMODACHI	北村 淳 // 編著	2011.6	並木書房	東日本大震災の被災地支援で、自衛隊とアメリカ軍は過去に例のない大規模な共同作戦を展開した。震災後約1カ月に及んだ「トモダチ作戦」の実像を400点以上の写真をもとに再現する。	書庫	369	キ	
19	東日本大震災 特別編	福島民報縮刷版	福島民報社 // 編集	2011.6	福島民報社	東日本大震災に関する本紙紙面をまとめた縮刷版を震災から3カ月目の6月11日に発刊。震災発生から50日間の新聞紙面から、ニュースや読者の声など関係するページを掲載。地震、津波、原発事故を、福島民報がどのように報道し続けたかが分かる一冊。	郷土資料	369	フ	複本2冊あり

18	東日本大震災復興支援地図	青森・岩手・宮城・福島・茨城・千葉 太平洋沿岸地域		2011	昭文社	津波の被害が大きかった太平洋沿岸地域を網羅、被災前の状況と被災範囲が把握できる地図。また避難所の位置や主な道路の通行規制箇所を掲載、そして東京からのアクセスも含め被災地域全体を把握できるため、復興活動の様々な場面での活用が可能。(※情報は2011年4月時点の取材結果によるものです。)	郷土資料	291 シ	複本3冊あり
17	大震災	欲と仁義	荻野アンナとゲリラ隊 // 著	2011.6	共同通信社	東日本大震災で被災した人々が身を寄せる避難所を荻野アンナとその仲間たちが突撃。善意と勇気を持って自ら行動する人々、そうでない人々…。長期化する集団生活の中での人間模様を綴り、被災者の思いを伝える。	書庫	369 オ	
16	がれきの中で本当にあったこと	わが子と語る東日本大震災	産経新聞社 // 著	2011.6	産経新聞出版	家族を失いながらも力強く生きる子供たち、高いプロ意識で被災地を奔走する人々、自然の猛威に力尽きた犠牲者たち…。東日本大震災発生以来、産経新聞の記者たちが被災地から送り続けたさまざまな人間ドラマ48本を収録。	書庫	369 ガ	
15	朝日新聞縮刷版東日本大震災	特別紙面集成 2011.3.11～4.12	朝日新聞社 // 著	2011.5	朝日新聞社	マグニチュード9.0、巨大な津波、原発事故…。3月12日～4月12日発行の『朝日新聞』朝刊と夕刊から東日本大震災に関する紙面を再録。とじ込み式の実物大3月11日号外のほか、3月13日号外をカラー口絵で収録。	書庫	369 ア	複本あり
14	検証東日本大震災の流言・デマ		荻上 チキ // 著	2011.5	光文社	チェーンメール、リツイート…。災害時における流言やデマはどのように生まれ、どのように広がるのか？真偽を確認するにはどうすればいいのか？そのメカニズムを解説し、ダメされない・広めない基礎知識を伝授。	書庫	361 オ	
13	この言葉を忘れない	3.11語りつぎたい勇氣と感動のつぐやき	『この言葉を忘れない』編集グループ // 編	2011.4	徳間書店	東日本大震災と福島原発事故。悲惨な状態のなかでも忘れなかった互いに助け合う心、世界各地から寄せられた励ましの声…。インターネット等で発信された人々の言葉やつぐやき、有名人の発言などを紹介する。	書庫	369 コ	
12	東日本大震災1か月の記録	読売新聞特別縮刷版		2011.5	読売新聞東京本社	2011年3月11日の号外から4月11日の朝刊まで、読売新聞東京本社が発刊した朝夕刊の紙面から東日本大震災に関連したページを抜粋し、オールカラーで収録。	郷土資料	369 ヒ	複本2冊あり
11	東日本大震災	読売新聞報道写真集		2011.5	読売新聞東京本社	かつて経験したことのない大地震が人々を恐怖の極限に追いつめ、大津波が地上のすべてを奪い去った。東日本大震災が発生した2011年3月11日から、復興の第一歩に至るまでを撮影した写真集。	書庫	369 ヒ	複本あり
10	闘う日本	東日本大震災1か月の全記録	産経新聞社 // 著	2011.4	産経新聞出版	2011年3月11日、「あの日」から日本で何が起きているのか。福島第一原発、菅総理全行動、被災地、首都圏パニック…。豊富な写真とデータで、東日本大震災からの「史上最悪の1か月」を俯瞰する。救援活動も完全収録。	郷土資料	369 タ	
9	祈りと希望	いまこそ私たちは共にある ツイッターに広がった感動の言葉251	「祈りと希望」実行委員会 // 編	2011.4	経済界	地震直後から、多くの通信手段が途絶えてしまった中、ほとんど唯一の情報源として活躍し続けたツイッター。感動し、勇気をもらい、そして涙した、震災に関する数多くのつぐやきを紹介する。	書庫	369 イ	

8	緊急復刊アサヒグラフ 東北関東大震災 全記録	大津波と原発―故郷が消えた	朝日新聞出版	2011.3	朝日新聞出版	大津波がすべてを変えた。…3月11日午後2時46分。この時刻は永く日本人に記憶されるだろう。東北関東大震災が発生。マグニチュード9.0の巨大地震と大津波が街を潰し、人々の暮らしを奪った。被災地ルポ、東京電力福島第1原発事故、他。写真を中心に掲載。	郷土資料	369 ア	
7	東日本大震災②		毎日新聞社	2011.4	毎日新聞社	被災地に生きる。…被災地では明日に希望をたくして今日を懸命に生きている人たちがいる。被災地の現状、ボランティア、そして東京電力福島第1原発事故、ほか。記録・写真をまとめた緊急増刊号の第2弾。p3に新地町の状況掲載あり。	郷土資料	369 マ	複本あり
6	東日本大震災		毎日新聞社	2011.4	毎日新聞社	2011年3月11日午後2時46分、東日本大震災発生。津波襲来。東京電力福島第1原発事故、他 記録・写真をまとめた緊急増刊号。p27に(新地町)相馬共同火力発電所の情報あり。	郷土資料	369 マ	複本あり
5	東日本大震災 100人の証言	私たちはどう生きていけばいいのか	朝日新聞出版	2011.4	朝日新聞出版	震災は私たちの心や社会に深い傷を残した。日本経済は危機的状況で、便利さを享受してきた生活も見直しを迫られる。専門家27人の提言。* 原発危機 * 被災者100人の証言 他	郷土資料	369 ア	
4	巨大津波が襲った～発生から10日間 東北の記録～	2011 3・11大震災 国内最大M9.0	河北新報社	2011.4	河北新報社	3月11日午後2時46分、三陸沖を震源に発生した東日本大震災は、国内観測史上最大となるマグニチュード9.0を記録。続いて発生した巨大津波は東北の太平洋沿岸地域を襲った。未曾有の震災を克明に記録した報道写真120点を収録。p72に新地町駅掲載有り。	郷土資料	369 カ	複本2冊あり
3	東日本大震災(特別報道写真集)	2011. 3. 11 1ヵ月の全記録	全国新聞社出版協議会	2011.4	福島民友新聞社	2011年3月11日午後2時46分、マグニチュード9.0の巨大地震が発生。大津波が街、生活、命を奪い去り、人々の胸に消すことのできない傷跡を残した。被災の状況から救助、避難所の生活、そして追い討ちを掛けた、東京電力・福島第1原発の事故。記録をまとめた全国新聞社出版協議会の合同出版企画。33・35ページに新地町駅写真有り。	郷土資料	369 ゼ	複本あり
2	東日本大震災	M9.0 2011年3月11日午後2時46分	福島民報社 // 編集	2011.4	福島民報社	3月11日午後2時46分、マグニチュード9.0の巨大地震が東北を直撃、県内の広い範囲で震度6強から震度5強を観測した。続いて発生した大津波は多くの尊い命を奪い、原発の事故は人々の日常を奪った。被災の状況から救助、避難所の生活まで、現実と向き合った福島民報の記者の記録。p2・10・14・18・20・49・99ページに新地町掲載。	郷土資料	369 フ	複本あり
1	新地町・震災と復興	50年後の新地人へ	新地町 企画振興課：企画・編集	2014.3	新地町	第1章：新地町概要 第2章：新地町 震災の記録 第3章：東日本大震災時の新地町 第4章：データで見る震災 第5章：復興へ 新地町復興事業 新地町 防災の心得	郷土資料	369 シ	複本2冊あり